

紫明ふれあい敬老のつどい

9月19日

敬老会

北文化会館

箏曲・バレエ・紫明小児童・紫踊屋・和太鼓

紫明社会福祉協議会

会長 森 貞子

紫明学区は今年九月十九日の敬老のつどいが六十回目を迎えました。昭和・平成と敬老者の数は増々ふえ続け、八十八歳は三十七名、百歳が五名お元気でお暮らしです。

少子高齢化が今、様々な問題を提起しております。紫明社会福祉協議会は、時代の流れをしつかりとらえ数十年来続けて参りました敬老のつどいは本年をもちまして終了することになりました。

これは京都市の方針でもあり、北区での流れでもございます。しかし私達の学区に北文化会館があり、すばらしい老幼交流の場でもありますので「敬老のつどい」は終了しますが形態を替えて平成二十四年九月十六日(日)には「紫明ふれあいのひろば」として楽しい催しを開催する予定です。紫明の文化を継承できますようホールの催しも続けるつもりであります。どのような催しをすれば皆さんに喜んで頂けるか何度も相談を重ねながら素晴らしい会になりますことを念願しております。

地域の絆が希薄になる中、皆様方が楽しくつどえる会にするにはどうすれば良いか？皆様方

発行所
紫明社会福祉協議会
編集責任者 森 貞子

のお知恵を拝借したいと思っております。どうぞご希望・演目等について御意見をお聞かせください。

ちなみに文化会館の使用については、今申込みませんとホールの確保はできません。既に役員の皆様のご意見を集約しホールの予約は済ませました。

敬老のつ



どい廃止につきましては、七十七歳以上の方々にご案内は出しません。どなたでも来ていただける会に致したいと思っております。来館の敬老者に粗品のご用意も致しません。従って町内でお配りしたり、米寿の方々のおみやげもお届け出来ませんのでご理解頂きたいと思っております。一人でも多くの紫明在住の方々にご参加頂き、なごやかな、そして絆で結ばれるような催しが出来たらなあ、と願っております。

皆様方のご支援ご協力もよろしくお願い申し上げます。

紫明交通安全対策協議会

会長 三野 国昭

今年の敬老のつどいは、三月十一日、東日本大震災もあり、安全安心の紫明のまちづくりをテーマに「防災グッズコーナー」と「交通安全啓発コーナー」を開設。高齢者及び子供児童を含めて二四〇人が参加。北警察署のご協力で交通安全教室も開設、改めて安全安心の優しいまち紫明を、さらに充実したふれあいの場としたい。



米寿おめでとつどい

北土総町 東部	吉田 健治	上御霊上江町	佐々木 新一
下初音町	奥野 勝太郎	新御霊口町 中部	佐俣 雅代
下花ノ木町	中川 俊雄	鞍馬口町	宇佐美 雅子
松ノ下町	田中 佐喜子	天上町	前川 キミ
南上総町 西部	中嶋 栞造	下総町 北部	中村 健二
堀 和正之	秀光	東大野万屋町	竹中 房枝
東大野町 北部	近藤 うめ子	下総町 西部 下町	田中 延子
東大野町 南部	寺尾 キヌ子	小山町	井ノ口 栄夫
堀池町 中部	湊谷 眞喜雄	中溝町 東部	服部 晶江
倉原 政子	組谷 修	中溝町	太田 綾子
滝野 敏子			酒巻 百合子
渡辺 百合子			津田 きぬゑ

ふれあい 敬老の集いに寄せて

紫明小学校

校長 今里 昌宏

毎年、「ふれあい敬老の集い」では、本校の子どもたちがお世話になっていきます。今年も三・四年生が「まつり花笠」を演じ、六年生の代表児童が、お年寄りの方にお手紙とお祝いの言葉を贈りました。

いずれも大きな拍手をいただき、子どもたちは感激していた様子でした。また、会の後には、例年のように多くのお礼のお手紙をいただきましたが、どの文面にも感謝の気持ちが綴られていました。

このような体験を積み重ねることで、子どもたちは「地域の方々に愛されているのだ」とい



う実感を持つことでしよう。

今年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれましたが、紫明地域には、今もその精神が脈々と流れているのだと感じます。

子どもたちが大

人になった時に、自分らが受けてきたことを何らかのかたちで地域にかえしてくるよう願っています。

紫明社会

福祉協議会

の皆様にご

感謝すると

ともに、今

後ともこの

集いがま

ます発展し

ますようお

祈りしてお



敬老のつどいを 終えて

秋の恒例行事となりました「紫明ふれあい敬老のつどい」が9月19日盛大に催されました。行政からの来賓を迎え式典が無事行なわれました。米寿の方へは、会長よりお祝いの品、花束の贈呈があり、会場は和やかな雰囲気になりました。又、紫明校児童によるお年寄りへの言葉の数々は本当に素晴らしいものでした。全校児童からお年寄りに届けられる手紙は、毎回大変好評で楽しみにされている方から、後日学校へお礼の手紙が届けられています。核家族化が進む中、このような交流が長く続いて欲しいものです。しかし急速に進む高齢化の中、支える側にも種々の問題を抱え、続ける方法を模索する必要にせまられているのが現状です。

(柴山泰朗)

健康すこやか学級

七夕まつり 七月七日

一年担任 栗田 佳子

すいか、お花、織姫様に彦星様。提灯におぼけ、レースに輪飾り……

一年生の子ども達は、地域のおばあ様方と一緒に、素敵な七夕飾りをたくさん作りました。

作り方を教わりながら、素直に一生懸命作る子ども達と、それに終始笑顔で手を添えておられるおばあ様方が大変印象的でした。

大きな笹に飾りをつけ、みんなでも歌も歌いました。

紫明校の子ども達が育くまれている環境の良さを感じました。

一年担任 藤原 希

地域のご年配の方々と活動ということで、子どもたちの新たな一面を知ることのできる時



間でした。真剣な目、きらきらと輝く目、意外としつかりとしたところなど……

ちよっぴり恥ずかしそうに歌う姿や、笹を貰って満面の笑みを浮かべる子どもたちを見てみると、私も童心に返ったような気がしました。たくさんの方々の笑顔とサラサラと揺れる笹が、懐かしい夏を運んでくれました。夜には私も、雲の向こうへこっそりお願い事をしたのでした。

雑感

(小島)

とまった事と思います。十一月、北警察署交通課より二名来て頂き、交通事故防止の話を、十二月は北消防署に来て頂きました。火災件数も死者も増加傾向にあり、殊に高齢者の焼死者が多いとのこと、家庭用火災報知器は設置されたでしょうか。義務づけられています。すこやか体操やゲームで頭と体を使い、昔懐かしい童謡を歌って楽しい時間を過ごしています。

賛助会費集計のご報告

少子高齢化が進み、家族の形態が悪化しつつある現在、今年一年間孤独死は三万余人、自殺者も三万人を数え悲しい世相が報告されています。天災が人災を呼んだこの一年日本は悲惨な苦しみを味わい続けていますが世界にひろがる暴動のみじめさを思うと日本の誇る民族意識を有難いと思わずに居られません。紫明の皆様、尊い善意を集め、共にがんばりましょう。(森)



紫明社会福祉協議会では介護予防事業の一環として毎月健康すこやか学級を開催しています。

九月は割箸を使った扇面壁掛けを作り、思い思いに描いたミニ色紙を飾り、十月はミニタオルを折り畳んで目とりポンをつけ、可愛いひよこが出来ました。

これらは十一月三日の文化祭に展示しましたので皆様のお目に

各町内の名簿を添えて北区社会福祉協議会へ全額納入致しました事をご報告申し上げます。昨年よりかなりのダウンとなりましたがご協力頂きました賛助会員の皆様方、集金にご協力頂きました各町内の皆様方に厚く御礼申し上げます。(小林暉和)

生涯学習フェスティバル(地域文化プラザ)

文化祭
(文化展)

紫明文化祭を訪ねて

京都市北区長

大 森 憲

文化の日、好天に恵まれ、紫明小学校を会場に、心待ちしていた紫明学区の文化の祭典が、盛大に開催されました。ご丁重にも、森貞子会長と池坊由紀運営委員長にお出迎えいただき、加えて、委員長ご自身によるご案内に恐縮しつつ会場に入りま

した。小学生の皆さんとの合同作品展示では、いつものように年輪を感じる手業の深い味わいと奔放な造形とのコラボレーションで懐かしい心持に浸らせていただきました。

学区に綺羅星のごとくお住まいの名人上手の逸品、精進された精華には言葉もありません。また、世界の名所旧跡を深い色調で切り取られた写真作品の展示にも心打たれました。池坊委員長長の古式の生花の前でお薄茶を頂戴し、おぜんざいに舌鼓をうって、紫明の文化を堪能させていただきました。

お忙しい中、会議を積み重ねられ、設営にも細心の気配りをしていただいた会長、委員長、紫明小学校育友会、紫明地域文化プラザの皆様はじめ関係の皆様にご挨拶を申し上げ、お礼を申し上げます。

紫明地域文化プラザ委員長

池 坊 由 紀

今年はお天気に恵まれ例年になく暖かな紫明文化祭となりました。開門を待ちかねて嬉しそうな顔で列を作っている子供達の様子を見ると、今年も開催する事ができ本当に良かったと思います。毎年紫明文化祭に来場したり、作品展示を通して参加することを恒例行事として楽しみにして下さる方々がいらっしやる事が主催する側にとっても励みにもなっています。この一年は東日本大震災や台風など天災が多く、その影響を受け厳しい状況が今尚続いています。その中で人と人が互いを思いやり苦楽を分かち合い心を通わせることが大きな力を生み出すこ

とを教えられました。紫明文化祭が地域の方々の交流の場となり心と心を結ぶ一助になればと願っています。最後に御協力頂きました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

生涯学習の

とりくみ

七月二十八日

陶芸教室

九月五日

羊毛フェルト教室

十月十四日

墨あそび教室

十月十七日

絵つがみ教室

十月二十五日

干支絵付教室

生涯学習に参加して

上清蔵口町 柳原 誠治

文化プラザ主催の「絵つけ教室」が御所人形師で有名な島田先生のご指導で毎年十月に開かれています。先生の明るい笑顔と人懐こいお人柄にひかれて毎回参加させてもらっている。平成二十四年が私の七回目の当り歳で、いやが上にも力が入りました。

た。先生が作られた素焼きの陶器に色づけする訳ですがその難しいこと、悪戦苦闘の連続で、午前九時半から正午までの二時間半、我を忘れて熱中しました。最後に龍の目を先生に加筆していただき完成、久し振りに充実した達成感を味わいました。

感謝！

人権月間

十二月十日、北区「人権のつどい」が北文化会館に於いて開催されました。講師は津軽三味線と民謡界の重鎮として活躍の高橋祐次郎師、落語家の四代目林屋染丸師匠でした。「津軽じょんがら節」で幕が開くや津軽三味線が命の響と云われている様に、力づよい上どこか寂しいがこち良いリズム感に酔いしれました。

人権の問題として戦争の事を、時には尺八やフルートに変えられての話は八十才近いお歳とは思えない迫力でした。又、林屋染丸師匠は、自分が育った頃の様にこの子供にも声をかけ、自分を愛する分他の人も愛する事が大切で、人権は身近な問題であると話された。落語の出し物は「小話し」三題で、お二人共に

人権トークと
津軽三味線
コンサート

津軽三味線が奏でる
命の響き

高橋 祐次郎氏
(津軽合奏団「風」KAZE主宰)



多彩な芸でユーモアを交えた話しは感動させたり、笑わせたりと今回の催しが好評で早い時期に満席になったのも納得出来ました。

2011 赤い羽根ふれあいコンサート

十二月四日(日)、右京区ふれあい文化会館で、赤い羽根コンサートが開催されました。

入場料千五百円の収益の一部は共同募金会に寄附され災害の復興資金に贈られます。紫明から三名が参加しました。午後五時三十分開演、会場は満席です。

岩崎ひろみさんの軽妙な司会で始まりました。ばんばひろふみさんのギター弾き語り(友情出演)に続き音楽工房「結」の演奏です。アルトフルート、ピアノ、中国の弦楽器二胡によるちよつと風変わりな編成のアカペラユニット。独自の音楽世界に浸りました。

最後はポップスバンド若者達の熱気と九時迄続いた大音響のライブが響き、最後までのおつき合いにくたびれました。(森)

紫明地域女性会活動報告

浅井三姉妹と

戦国時代の女性

九月一日、北区地域女性連合会の催しで、京都橘大学教授、田端泰子氏の講演があり「浅井三姉妹と戦国時代の女性」と題してお話を聞きました。信長の婚姻政策によりお市と浅井長政との間に産まれた淀殿、お初、お江の三姉妹は秀吉の全盛期、晩年に深く関わり、三人三様の生き方を選択して強く生き抜かれました。秀吉の没後、淀殿は秀頼の後見、大阪城の主、お初は京極高次没後出家して常高院となる。お江は徳川家の一員として豊臣家との仲立に努める。いつの世も志強くもった女性でありたいものです。(木村)

歴史探訪

十月四日(火)、女性会で福井県の柴田神社を詣でました。ビル群の中にひっそりと立つ柴田



神社は何も語らず。銅像がどっしりと立ち、その前に平山郁夫画伯の揮毫の立派な黒石祠がありました。説明を聞くと画伯が勝家の縁者の由驚きました。(森)

境内には「市」と三人の娘の像もあり、子供の成長、出世の神として参拝者にぎわっていました。

その後そっくり埋って復元された戦国大名朝倉氏の一乗谷遺跡へ向いました。計画的に造ら

昭和二十五年、戦後の日本人の心を掴んだ「去りにし君」と江利チエミが歌う「テネシーワルツ」。歌詞の大意は、ダンスパーティーで偶然に出会った友人に、自分の彼氏を紹介し、恋人を取られてしまうという誰にでもあるほろ苦い思い出。

この唄を作ったのは、米国テネシーで活躍していた、ピーウィー・キングとレッド・スチュアートの二人の男性。彼らはカーラジオから聞こえてくるケンタッキー出身のビル・モンローが作った「ケンタッキーワルツ」を聴きながら自分たちの州にもこんな歌があるべきだと発奮してた

あんなこと こんなこと

シリーズ
⑤1

南上総町 永富研二

た道路をはさんで城の山裾に武家屋敷、反対側に庶民の町屋が復元され、そこで営まれていた人々の生活に浸りながらゆっくりと散策しました。

昼食の後、向源寺へ。ここには約千二百五十年以来、病い除け霊験あらたかな観音像としてあがめられている国宝十一面観音像が安置されています。浅井・織田両氏の戦火でこの十一面観音像他多くの仏像も七堂伽藍ともに烏有に帰し寺領ともども没収せられ仕方なく搬出した十一



渡岸寺観音堂(向源寺)

面観音像は土に埋め難をのがれたといわれています。ひなびた田舎の村に建つ向源寺の本堂には平安後期・県指定文化財の阿弥陀如来がおられ、十一面観音、胎藏界大日如来座像、金剛力士像二軀等は平成十八年落慶をみた収蔵庫に安置されている。この国宝十一面観音像は頂上仏面が菩薩相で特徴として小面の配列が特にめだつ形になっており大きな耳かざりをつけるなど印度や西域の風を伝えている。仏像のまわりをまわって拝める様に展示がなされています。

戦国大名浅井三代とゆかりのある武具や伝統的な暮し、道具、人形ジオラマ等の展示されている浅井歴史民俗資料館見学を最後に秋の心地良い旅をおえて帰りました。(小谷)

社会見学合同研修 共同募金会・社会福祉協議会

ワークセンターつづじ

北区共同募金会・北区社会福祉協議会の合同研修会が十一月二十四日に北区役所を満員の入達を乗せてバスは一路、堺のワークセンターつづじへと走りま



ワークセンターつづじは知的障害を持った人達の生きがいがあり、豊かな社会生活を送ることが出来る場所として、軽作業は「アルミカンをつぶす」「進物用のフォークやスプーンの箱詰め」、織物や陶器を作り「善人工房」として、皆様に買ってもらうこと、クッキー工房、レストラン等様々な就労支援事業を成功させておられ、一番感心したことは高齢化した障害者とその親達と一緒に過ごせる住宅を併設してこられたことです。入所者の人達がのびのびとして、それぞれの仕事を一生けんめい取り組んでそれを見まもる職員

の温かい心、やさしい心を感じました。(鶴山)

施設見学の後、堺市にある仁徳天皇陵を見学しました。広大な敷地に日本一大きい前方後円墳が美しく整備され、ガイドさんの説明によると、古墳の左端が台風で被害を受け、その修復中に盗掘の跡が見られたが宮内庁の意見により調べは出来なかつたとの事、歴史は未だ謎のままだすと説明を受けました。そ

ふとん丸洗いサービス実施

- 実施日 1月18日(水)
- 対象者 独居 70歳以上の方
75歳以上の高齢者世帯
寝たきりや障害のある方
- 費用 1世帯 2枚迄 無料
- 締切日 1月11日までに、各町社協委員まで申し込んで下さい。

編集後記

今年は未曾有の大災害の年、九ヶ月を経過した今も被災地の惨状は目を被うばかりで復興の土音も聞こえず、被災した人々の苦しみは絶えません。

平成二年、広報発行から数えて二十二年目の義援金集めや様々な事情により、七月号の発行が出来ませんでした。歳末号発行に当たり、七夕祭の行事も含めて記事にしました。来年こそエト辰年の飛躍を心から念じ、学区の皆様のご多幸を祈ります。(森)

の後隣接する堺市の公園を散策し、利休ゆかりの茶室で希望者が抹茶をいただきました。美しい池庭に紅葉が映え、池のほとりを取巻くどうだんつづじが紅色に燃えて池に映る風景は、京都に見られない市の公園だと心のおみやげを貰ったような豊かな感慨で帰途につきました。(森)

十月一日にスタートした共同募金は、十月三十一日現在で、八三万八一五〇円集まりました。皆様の貴重な募金は、北区役所を通じて、京都府共同募金会にすべて納入致します。

「地域の福祉」みんなで参加し「幸せ」と「豊かさ」をわかちあえる福祉の充実のために、皆様のご協力をお願い致します。尚、十二月は、歳末たすけあい運動が行われています。皆様方の温かいご協力をよろしくお願い致します。(北井)

あなたのまちの
幸せのために
**赤い羽根
共同募金**
10月1日▶12月31日